

基本目標 Ⅲ

質の高い学校教育の推進

〔 施 策 〕

- 教職員の資質向上
- 県立高校の再編整備と学校の組織運営の改善
- 子どもたちの安心・安全の確保
- 学習環境の整備・充実
- 私学教育の振興

施策 教職員の資質向上

現状と課題

教員の大量退職の時代を迎え、採用予定者数が増加しており、優れた教員の確保が課題となっています。公正で透明性の高い採用試験を実施するとともに、優れた指導力と使命感を兼ね備えた教員を育成し、学校の教育力を維持・向上させることが求められています。

また、様々な教育課題に対応するためには、教職員のライフステージに応じた適切な研修や専門研修などを行い、資質・能力を向上させることが必要です。

さらに、公正な人事管理及び教職員の資質・能力の向上を図るため、教職員の人事評価制度の推進が求められています。優れた教員については、その力を学校の活性化に生かすことが必要です。一方、指導が不適切である教員に対しては、県民からの信頼回復のため厳正な対応が求められています。

教員の業務は、授業など直接児童生徒と接する業務のほか、事務的な業務など多岐にわたり多忙であるため、子どもと向き合うための環境づくりを進める必要があります。

教職員の精神疾患による休職者が増加傾向にあるため、適切な対応が必要となっています。



埼玉教員養成セミナーにおける大学生の受講風景

施策の方向性

- 教員採用試験の改善により、教育への情熱を持った優れた教員を確保します。また、経験豊かな人材を学校に配置し、学校の活性化に取り組みます。
- 教職員のライフステージに応じた適切な研修を充実します。また、教員免許更新制に取り組みます。
- 人事評価制度を充実し、教職員の人事管理や資質・能力の向上に取り組みます。
- 優秀な教員を表彰するとともに、指導が不適切である教員に対して、厳正に対応します。
- 教員が子どもと向き合う環境づくりのための取組を推進します。
- 悩みを抱える教職員に対する取組を推進します。



指導方法について協議する教員研修風景

主な取組

❖教員採用の改善

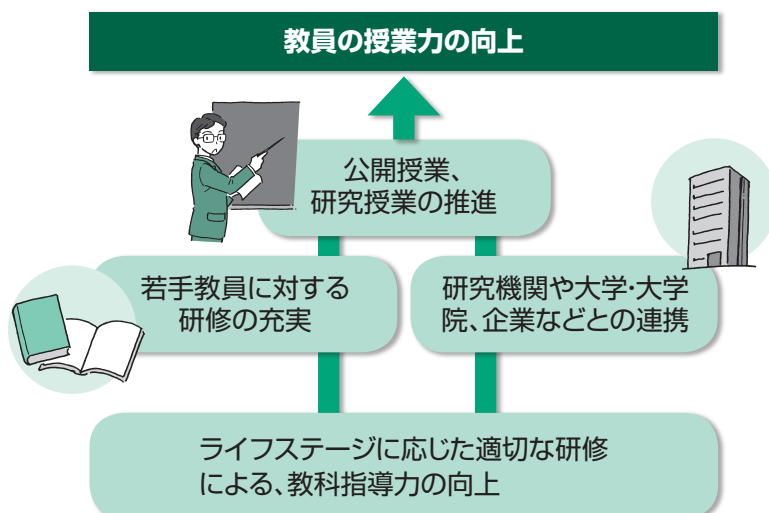
- 優れた教員を確保するため、採用試験内容の改善を行うとともに、県外での採用試験や特別選考など実施方法の改善を行います。
- 県内大学と連携し、本県の教員を目指す学生を対象に教員養成セミナーを実施します。
- 教員志望者を増やすため、高校生を対象に教員の魅力などを伝える説明会を実施します。

❖経験豊かな人材の活用

- 民間企業などの経験者で、教育に対し意欲と情熱、適性がある人材や退職教員の活用を進めます。

❖教職員研修の充実

- 総合教育センター本所と深谷支所を統合するとともに、スポーツ研修センターの機能を統合・移転し、効果的な研修を実施します。
- 教職員のライフステージに応じた研修の在り方を見直し、実践的指導力を向上させ人間性・社会性を磨く研修を充実します。また、優れた実践例や教育に関する様々なデータ及び研究成果の蓄積とその活用に取り組みます。
- 国の研究機関や大学・教職大学院など、外部機関との連携を図り、若手教員や管理職に対する研修を充実します。
- 教員の授業力の向上を図るため、県立高校の教員や県内大学教員などによる公開授業を進めます。



研究機関における先端技術の研修風景

❖教員免許更新制の円滑な実施

- ・県内大学と連携し、教員免許更新制の円滑な実施に取り組みます。

❖人事評価システム*の充実

- ・人事評価制度の信頼性を高めるため、評価結果の検証を踏まえてシステムを充実し、人材育成や任用、給与などの人事管理への適切な活用に取り組みます。

❖優秀な教員の表彰制度の推進

- ・優秀な教員を表彰するとともに、表彰を受けた教員(はつらつ先生*)を本県や市町村で実施する研修会などに指導者として活用するなど、その優れた実践を広めます。

❖指導が不適切である教員への対応

- ・指導が不適切である教員には、学校での教育活動を行わせることなく、指導改善研修を実施し、厳正な人事管理を行います。

❖子どもと向き合う環境づくりの推進

- ・学校現場の負担軽減のため、学校に係る調査の統合や事務の効率化など、学校現場の支援を行います。

❖悩みを抱える教職員に対する取組の推進

- ・精神科医などによる面接相談やメンタルヘルス研修などを実施し、教職員の心の健康保持に努めます。

基本目標
Ⅲ

質の高い学校教育の推進

施策 県立高校の再編整備と学校の組織運営の改善

現状と課題

生徒数の減少への対応とともに、生徒の学習ニーズの多様化や激しい社会の変化の中で、学校の活性化・特色化を図ることが求められています。

本県では、平成15年度に併設型中高一貫教育校*として県立伊奈学園総合高等学校に県立中学校が設置されました。現在のところ、生徒・保護者から高い満足度が示されていますが、平成21年3月に卒業する第1期生の状況など、県立伊奈学園総合高等学校における中高一貫教育の検証を行う必要があります。

また、県民や保護者・生徒の信頼と期待に応える学校づくりを行うため、学校が自らの教育活動や学校運営を評価・公表し、それに基づく改善を一層進めることが大切です。

さらに、学校が様々な課題に迅速・的確に対応するためには、その組織力を強化するとともに、優秀な管理職を確保・育成していくことが必要です。

施策の方向性

- 県立高校の活性化・特色化を図るため、県立高校の再編整備を推進します。また、本県における今後の中高一貫教育の在り方について検討します。
- 学校の教育活動や学校運営の自律的、継続的な改善に資するため、学校評価システム*などの充実に取り組みます。
- 管理職が的確にリーダーシップを発揮できるよう、学校の組織体制を整備・充実します。

主な取組

❖ 県立高校の再編整備などの推進

- 中長期的視点に立って県立高校のあるべき姿と今後の施策の基本的方向を示す「21世紀いきいきハイスクール構想*」及びその具体的な施策を示す「21世紀いきいきハイスクール推進計画」に基づき、県立高校の再編整備や魅力ある学校づくりを進めます。
- 本県における今後の中高一貫教育の在り方について、これまでの併設型や連携型*における取組の検証や他県の状況などを踏まえ、検討を進めます。

❖ 学校評価システムの充実

- 全県立学校で実施している学校関係者評価*に加え、第三者による評価*を実施することにより、学校の教育活動や学校運営のさらなる改善・充実に取り組みます。
- 小・中学校についても、すべての学校において学校関係者評価が実施されるとともに、その結果が公表されるよう市町村に働きかけます。

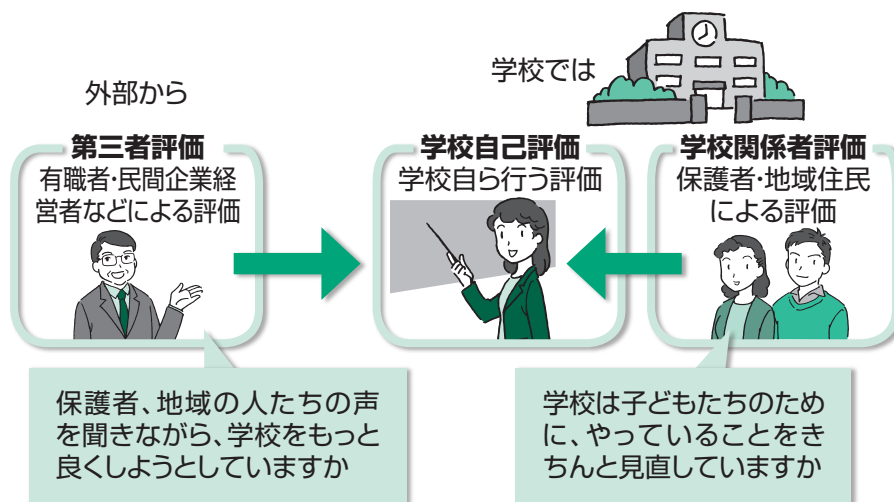
❖ 学校の組織体制の整備

- 副校長、主幹教諭など新たな職の設置を進めます。

❖ リーダーシップを発揮できる管理職の育成

- 実績ある優秀な人材を確保するとともに、管理職研修を充実します。

県立学校における学校評価システム



施策 子どもたちの安心・安全の確保

現状と課題

登下校時や校内における事件、事故、災害から児童生徒を守るため、学校は安全の確保に努めるとともに、様々な場面を想定し、児童生徒に危機対応能力の基礎を培うことが求められています。

また、学校における危機管理体制を確立するとともに、教職員の危機管理能力の向上を図ることが必要です。

地域における児童生徒の安全確保については、学校と地域が連携し、地域全体で子どもたちを守る体制づくりを進める必要があります。

施策の方向性

- 危機対応能力の基礎を身に付けさせるため、学校における避難訓練などを計画的に実施します。
- 学校における危機管理体制の整備・充実と教職員の危機管理能力の向上に努めます。
- 児童生徒の防犯や交通安全について、地域や関係機関と連携し、地域ぐるみの学校安全体制の整備を推進します。



小学校における防災教育

主な取組

❖安全教育の推進

- 子どもたちの安心と安全を確保するため、すべての学校で学校安全に関する計画を作成し、適切に実施します。また、子どもたちに危機対応能力の基礎を身に付けさせるため、避難訓練や防災教育などを計画的に実施します。

❖学校の危機管理体制の整備・充実

- 各学校において、危機管理マニュアルを作成するなど危機管理体制を整備するとともに、教職員に対する研修を充実します。

❖家庭、地域と連携した防犯、交通安全教育の推進

- 児童生徒の防犯・交通安全教育を進めるとともに、家庭への普及啓発や、スクールガード・リーダー*の配置、学校安全ボランティア活動の充実などにより、地域ぐるみの学校安全体制の整備を進めます。
- 「学校応援団*」と連携・協力し、登下校時の指導など学校安全活動を推進します。



学校安全ボランティアによる下校指導

基本目標
Ⅲ

質の高い学校教育の推進

施策 学習環境の整備・充実

現状と課題

安全で快適な学習環境を整備するため、また、時代の変化に対応した施設を整備するため、県立学校施設の老朽化対策や、バリアフリーの学校づくりを推進していく必要があります。また、ヒートアイランド現象の抑制や地球温暖化防止対策のため、県立学校においても環境への負荷を減らす施設づくりが求められています。学校施設の耐震化など、安全性の確保も不可欠です。

学校図書館については、学校図書館図書標準の達成に向け、資料を充実する必要があります。教材についても、学校現場に十分行き渡るよう計画的な整備が必要です。

また、急速に社会のICT*化が進む中で、子どもたちの情報活用能力を向上させるための環境整備が求められています。

さらに、経済的に困難な高校生などに対しては、修学を援助するため、充実した奨学金制度や授業料・入学料の減免制度が必要とされています。

施策の方向性

- 県立学校の大規模改修などにより、安全で快適な学習環境の整備を推進します。また、環境への負荷を減らす施設づくりを推進します。
- 学校の耐震化を推進します。
- 学校図書館の資料や教材の整備を推進します。
- 分かりやすい授業の実施や事務効率化などのため、学校の情報化を推進します。
- 経済的理由により修学が困難な高校生などに対し、奨学金制度や授業料・入学料の減免制度により支援します。

主な取組

❖学校施設の整備推進

- ・老朽化の著しい県立学校の大規模改修工事を行うとともに、防水対策工事、設備改修工事などを予防的・計画的に実施します。
- ・県立学校のバリアフリー化を推進します。
- ・県立学校の緑化などに取り組み、二酸化炭素削減など環境への負荷を減らす施設づくりを進めます。
- ・小・中学校の施設整備を市町村に働きかけます。

❖学校施設の耐震対策の推進

- ・県立学校について、耐震性能が確保されていないすべての校舎及び体育館の耐震補強工事を実施します。
- ・小・中学校については、国の補助制度を活用し、大規模地震で倒壊の危険性の高い建物の耐震化を優先的に進め、早期に耐震化が完了するよう市町村に働きかけます。

❖学校図書館・教材の整備・充実

- ・教育活動を充実させるため、県立学校の学校図書館の資料や教材を整備します。
- ・学校図書館図書標準の達成に向けた小・中学校の図書室の資料や、教育活動を充実させる教材の整備を市町村に働きかけます。

❖ICT環境の整備

- ・県立学校の生徒が使用するコンピュータの整備とともに、教員用コンピュータの整備を進めます。
- ・小・中学校のICT環境の整備を市町村に働きかけます。

❖修学に対する援助の充実

- ・経済的な理由により、修学が困難な県内在住の高校生などに対しては、奨学金を貸与し、授業料・入学金の納入が困難な県立高校生に対しては、授業料・入学金を減免します。

県立学校の緑化

学校で、新たに身近な緑をつくりだす

屋上緑化

校庭の一部
芝生化

壁面緑化

など

地球環境への
貢献

環境教育の
推進

快適な学習
環境づくり



県立高校の緑化のイメージ(屋上緑化)

基本目標
Ⅲ

質の高い学校教育の推進

施策 私学教育の振興

現状と課題

県内の私立学校に在籍する子どもの割合は、高等学校で約30%、幼稚園や専修学校では95%を超え、公教育の一翼を担っています。私学教育の振興を図るため、教育環境の充実や保護者の経済的負担軽減など、一層の支援に努める必要があります。

各私立学校では、県民の教育ニーズに応えた特色ある教育を提供しており、今後、そうした取組へのさらなる支援が必要です。

施策の方向性

- 私立学校における教育環境の充実や保護者の経済的負担軽減のため、助成を行います。
- 私立学校の自主性を尊重しつつ、建学の精神に基づく特色ある質の高い教育への支援を行います。

主な取組

❖私立学校運営に対する補助

- ・教育条件の維持向上を図るとともに、特色ある教育の実施を促すため、私立学校の運営費などに対して補助を行います。

❖私立学校の保護者負担の軽減

- ・授業料などの経済的負担を軽減するため、保護者に対して補助を行います。

❖私立学校の教育環境の充実

- ・私立学校の教育環境の充実に要する資金を融資します。

❖私立学校の学校関係者評価の促進

- ・私立学校における特色ある教育など、より良い教育活動に資するため、保護者・地域住民などによる学校関係者評価の実施及びその結果の公表を促進します。

